



ロシア語が身につく習慣

単語の記録のしかたを少し変えるだけで、あとになって何か月も迷わずに済みます。

1. 名詞は必ず、一致する語を1つ添えて覚える

ロシア語では、名詞の性が形容詞の語尾や過去時制の動詞、代名詞を決めます。単独の名詞では性を確実に知ることはできません。一致する形容詞を1つ添えれば確実に、覚える手間もほとんど増えません。

そのまま覚えると	こう覚える	理由
словарь	новый словарь	-ьはどちらの性にもなりうる — これは男性
дверь	новая дверь	これも-ьだが女性 — 形容詞が性を決める
море	новое море	中性
кофе	горячий кофе	-eで終わるが、丁寧な使い方では男性

2. 動詞は疑問詞とセットで覚える

動詞が格を伴わない裸の目的語を取ることはめったにありません。その動詞が支配する格を、単語そのものの一部として記録しましょう。疑問詞はコンパクトなラベルとして働きます。

そのまま覚えると	こう覚える	使用例
помогать = 手伝う	помогать кому? + 与格	Я помогаю брату.
интересоваться = 興味を持	интересоваться чем? + 造格	Она интересуется историей.
ждать = 待つ	ждать кого? что? + 対格	Я жду автобус.

3. 対比ペアを集める

よい対比ペアは1組で、ばらばらの規則を10個覚えるより多くのことを教えてくれます。対比のおかげで文法が見えるようになるからです。

パターンA	パターンB	対比が示すもの
Я в школе.	Я иду в школу.	今いるところと、向かっているところの違い
Я читал книгу.	Я прочитал книгу.	活動そのものと、それを終えることの違い
Я шёл в магазин.	Я ходил в магазин.	道中と、行って帰ってくるものの違い

4. よく使う名詞は生格複数も一緒に覚える

ロシア語で最も予測しにくい形なので、自分で導こうとせず、そのままの形で覚える価値があります。

- место > мест · письмо > писем · друг > друзей · человек > людей

5. 名前を付ける前にパターンに気づく

読んでいると、в городеが何かの場所を描き続け、в городには行くことと着くことが伴い、из городаはそこから来ることを表す、と気づくかもしれません。それはラベルよりずっと価値があります。前置格、対格、生格という名前は、すでに感じ取っているものにつける取っ手にすぎません。

そして、やってはいけないこと1つ

すべての単語をいちいち訳そうと立ち止まらないこと。物語では文脈が教えてくれます。推測し、物語がそれを確かめたり正したりして、単語が身につきます。すべてを訳すはこの流れが遅くなり、読むことが作業のように感じられます。